



実効性ある子ども施策の展開

- ▶ 子ども・子育て政策について、国が全国一律で行う施策と、地方がその実情に応じてきめ細かに行う地方単独事業を組み合わせることにより、効果的な展開を図る。

【提案・要望先】 内閣府・総務省

1. 提案・要望内容

(1) 全国一律の子ども・子育て支援制度の底上げ

- 全国一律の制度としての子ども・子育て支援施策の実施と地方負担に対する適切な地方財政措置

(2) 地方の実情に応じた子ども・子育て支援施策の推進

- 地方の創意工夫が活かせる交付金や基金などの創設や地方財政措置の拡充

2. 提案・要望の理由

子ども・子育て支援施策の実効性を十分確保するためには、国と地方が適切に役割分担し、車の両輪となって推進していくことが重要。

(1) 全国一律の子ども・子育て支援制度の底上げ

- 子ども・子育て政策については、国において一定負担軽減が図られてきたが、それぞれの自治体が独自に対象者の拡大や助成額の増を打ち出すなど、財政力などによる地域間での差が生じているところ。
- 特に子ども医療費や保育料の無償化など、本来、子どもや子育て当事者がどこに住んでいても等しく受けられるべきものについては、全国一律の制度として底上げを図るとともに、その充実に伴う地方負担については、適切な地方財政措置が必要。

(2) 地方の実情に応じた子ども・子育て支援施策の推進

- 国において、追加の予算概ね3兆円半ばを「こども金庫」により管理する方針が示されたが、子ども関連予算の確保のため他の社会保障に支障が出ないように、また、将来に負担を残さない仕組みが求められるところ。
- 子ども・子育て政策は、児童福祉や教育、保健医療など多岐にわたるため、全庁を挙げてきめ細かに取り組んでおり、施策の具体を担う市町に対しても、地域の課題に応じて柔軟に活用できる交付金制度の創設も含めて検討しているところ。
- 子どもの遊び場、安全な生活環境等の整備など、地方がその実情に応じてきめ細かに行う地方単独事業と、全国一律の制度の底上げが組み合わせることで効果的なものとなるため、地方の創意工夫が活かせ、機動的に施策展開が図れるよう、複数年度にわたる柔軟な施策の実施が可能となる基金制度創設をはじめ、地方財政措置を含めた自由度の高い十分な地方財源の確保が必要。

(本県の取組状況と課題)

地方の実情に応じた子ども・子育て支援施策の推進

- ① 滋賀県子ども・若者基金（令和4年度に造成）
〈規模〉 10億円
〈基金による独自事業の例〉



- ② (仮称) 滋賀県子ども・子育て施策推進交付金（令和6年度に創設予定）

子どもを真ん中におき、
子どもを安心して生み育てることができる滋賀県の実現

自由度の高い交付金制度とすることで、
市町の実情に応じた施策を展開

交付金対象とする取組メニュー

- ①子どもたちが自分らしく生きる力を育むための取組
- ②家庭や地域で安心・安全に子どもを生み育てることができる環境づくりを図る取組
- ③幼児教育・保育の量や質の充実を図るための取組
- ④特別な支援を必要とする子どもを支援する取組
- ⑤困難な状況にある子ども・若者やその家庭を支援する取組
- ⑥子どもや子育て家庭の居場所づくりなど、子ども・子育てにやさしい社会実現に資する取組

担当：健康医療福祉部 子ども・青少年局 次世代育成係
TEL 077-528-3565